

# Information



## 交通研究所

号 外  
平成19年11月9日  
交通企画課

### ☆ ~こまめなライト切り替えで夜間の交通事故防止~ ☆

ドライバーは、前照灯の上向き照射の有効な活用を！

歩行者は、車から早く発見されるために夜光反射材の活用を！



夕暮れが早まる10月以降から年末にかけて交通事故が増加する傾向にあり、なかでも歩行者の交通死亡事故の発生割合が高くなります。

夜間における車両対歩行者の交通死亡事故は、車両側の速度超過や前方不注視による発見の遅れ、また歩行者の黒っぽい服装や夜光反射材の未使用等が起因となることが多い。本年9月末までの日没から日出までの夜間に発生した歩行中の交通死亡事故34件を分析したところ、

34件すべて、車両の前照灯は下向き照射(ロービーム)であり、そのうち、15件は、上向き照射(ハイビーム)で走行していた場合、未然に事故を回避、または軽減された可能性があった。

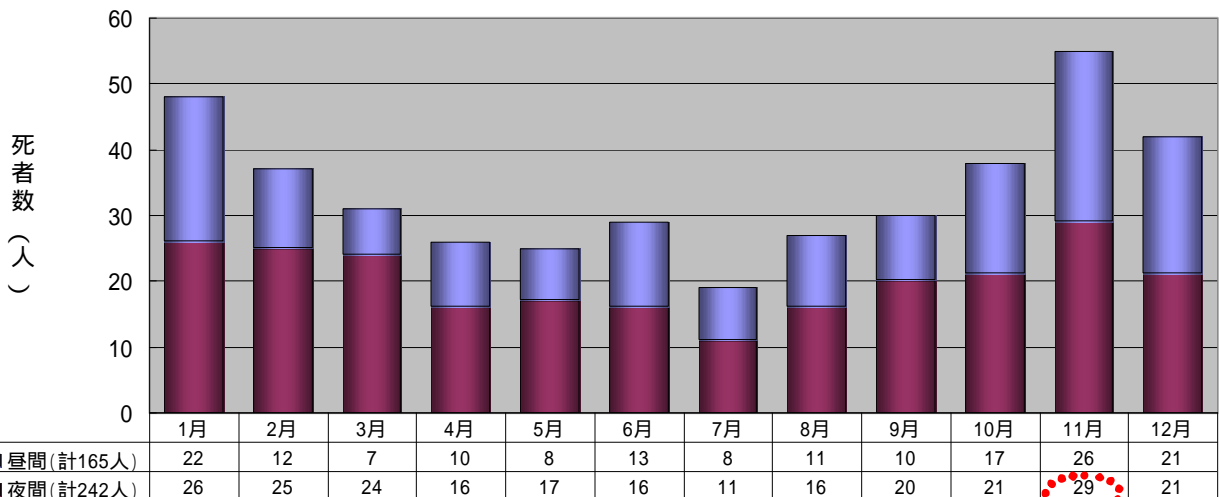
歩行者34人中28人(82.4%)が黒っぽい着衣であり、夜光反射材着用は1人(2.9%)であった。ということがわかりました。

#### 交通死亡事故の発生状況

1 最近5年間(平成14年～18年)における歩行中の死者数の分析結果

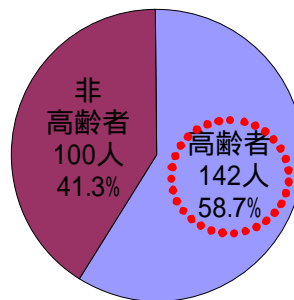
(1) 歩行中の月別・昼夜別

昼夜別では、12月を除いて夜間の発生が高いが、発生件数は、11月が29人と最も多く、次いで1月26人、2月25人となっている。



夜間構成率	54.2%	67.6%	77.4%	61.5%	68.0%	55.2%	57.9%	59.3%	66.7%	55.3%	52.7%	50.0%
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(2) 夜間における歩行中の年齢層別発生状況  
 242人のうち、高齢者(65歳以上)が142人と58.7%を占めている。

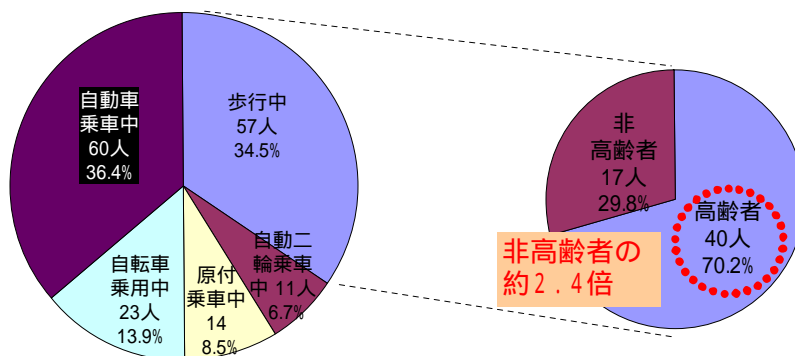


## 2 本年9月末までの歩行者の交通死亡事故の分析結果

### (1) 状態別

全死者165人のうち、自動車乗車中が60人(36.4%)と最も多く、次いで歩行中が57人(34.5%)となっている。

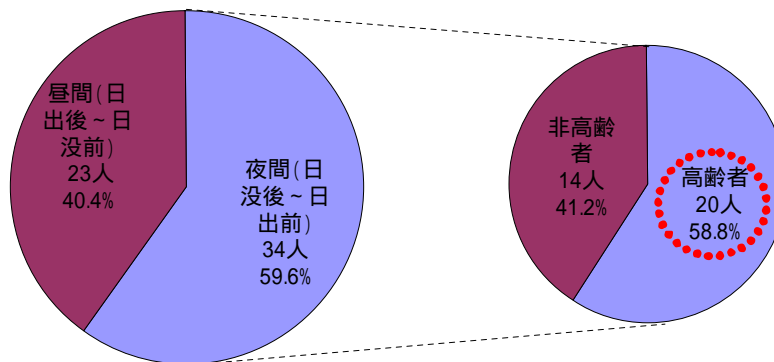
歩行中の57人のうち、高齢者が40人(70.2%)と非高齢者17人の約2.4倍となっている。



### (2) 昼夜別

昼間を日出後から日没前、夜間を日没後から日出前と分けると昼間が23人、夜間は34人(59.6%)となっている。

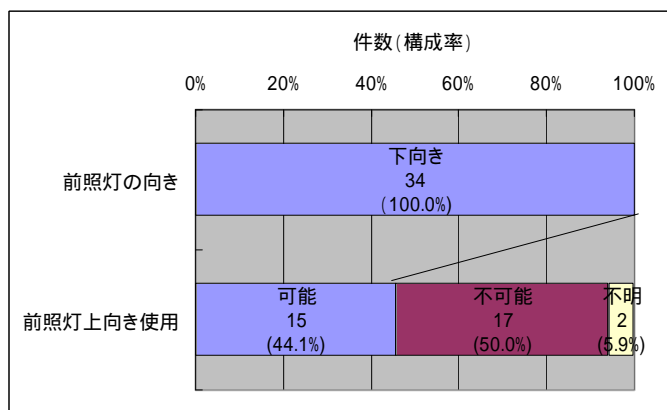
夜間のうち、高齢者が20人(58.8%)を占めている。



### (3) 車両の前照灯の状況

夜間に発生した事故のうち、車両の前照灯の向きは、すべて下向き照射(照射距離約40m)で走行している。

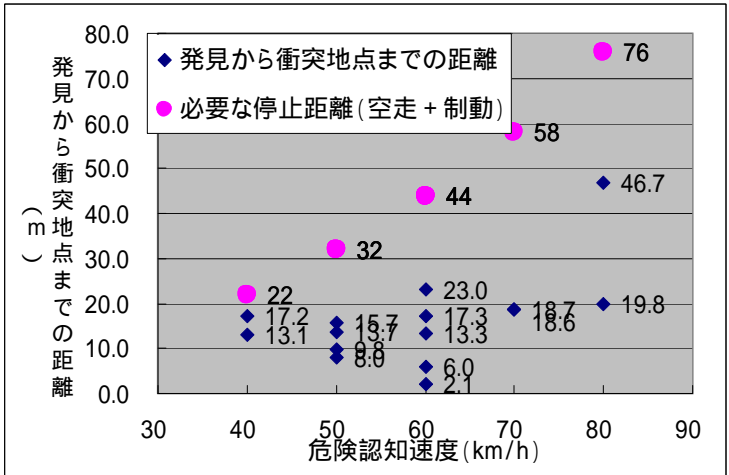
そのうち、事故発生前に対向車や先行車がなく、前照灯を上向き状態で走行が可能であったと推察されるものが、不明の2件を除き15件(44.1%)であった。



(4) 車両運転者の歩行者発見から衝突までの距離

前照灯の上向き照射が可能であった15件について調査したところ、いずれの事故についても当時の走行速度(危険認知速度)に相当する必要な停止距離よりも短い距離で発生している。

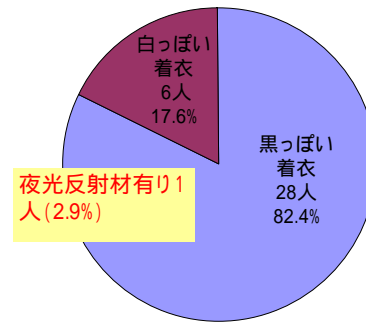
前照灯が上向き照射可能であった15件については、車両側が上向き照射で走行していた場合、未然に事故を回避、または軽減された可能性があったものと推察される。



(5) 歩行者側の事故当時の服装

黒っぽい着衣が28人(82.4%)を占めており、夜光反射材を着用していた歩行者は1人(2.9%)であった。

反射材を着用していたのは、高齢者(黒っぽい服装)で杖に貼付していた。



ライト切り替えによる照射範囲の違い

下向き照射をした場合  
(ロービーム・照射距離約40メートル)



上向き照射をした場合  
(ハイビーム・照射距離約100メートル)



運転者のみなさんへ

- 1 対向車がない場合や追従して走行する場合を除き、こまめに前照灯を上向き照射(ハイビーム照射距離約100m)に切り替えましょう。  
上向き照射の効果
  - ・ 歩行者や自転車等を早期に認知することが可能となり、危険の回避に繋がります。
  - ・ 歩行者事故や自転車事故を防止するだけでなく、事前に道路線形が認識できることから路外逸脱等の自損事故防止に繋がります。
- 2 夜間は、前照灯の届く距離に応じた安全な速度で走行しましょう。
- 3 夕暮れどきの早めのライト点灯を励行し、歩行者や自転車利用者に「見せる」走行を励行しましょう。

歩行者のみなさんへ

- 1 道路を横断する際、左右をしっかりと安全確認するとともに無理な横断はやめましょう。
- 2 白っぽい明るい服装に努めるとともに、夜光反射材を着用しましょう。